



子どもとの関係づくり



子どもを取り巻く社会環境の変化、価値観の多様化、生活の変化等、現在の子どもたちが置かれている状況は、一昔前と比べると、非常に大きく変わってきました。こうした環境の変化からか、思春期の低年齢化も相まって、全国的にも小学校での指導が難しくなっている状況があります。日南小学校でもそうした状況が見られ、教職員をはじめ、関係者みんなで改善を目指して取り組んでいるところです。

子どもを教育する上で、子どもとの信頼関係は大変重要です。かつて「大人への信頼感」は、家庭や地域社会、学校生活などで自然と養われ、目上の人として大人を尊敬し、信頼することは当然の姿でした。しかし、様々なストレスを抱える現代の子どもは、大人への信頼感をもちにくくなっていると言われています。実際、そうした傾向は、日南小学校の子どもたちへのアンケート結果にも表れていました。

子どもたちからの信頼感を得るために、「子ど

もの話を聞く」ことが大切だと言われます。では、「話を聞く」ためにはどうすればよいでしょう。

- ・子どもが素直に思いを語れるように、日頃から積極的にコミュニケーションをとる。
- ・子どもの言葉や行動に表れる気持ちを想像し、「そうなんだね」と受容する。
- ・子どもの話の背景にあるもの、状況等を考える。
- ・必要な場合は、子どもが納得できるように諭したり話し合ったりする。

こうしたことを一度に完璧に行うのは、とても難しいことです。だから、少しずつこうしたことを積み重ね、信頼される関係を作っていく必要があるのです。

これからも多くのみなさんに、子どもを教え、導く「大人」として、子どもたちと関わっていただきたいと思います。

地域コーディネーターだより

日南町のお米は絶品ですね！

また新しい年がやってきました。私自身も60数回も迎えられたことを家族に感謝したいと思います。

昨年の11月から週1～2回を目標として昼休憩、放課後を利用して小学校で卓球練習を始めました。私は阿毘縁小学校時代に教えていましたので、指導に関しては何も抵抗はなく「やりましょう」といった気持ちで始めました。目標は日南町冬季卓球大会（1月24日）への参加です。私も頑張りますので保護者の方も是非応援してください。共に汗をかくと児童も心を開いてくれます。練習を一步一步積み重ねることによって確実にレベルも上がってきており、子ども達の意識も変わってきました。だれだれさんには負けられない、良い意味でのライバル意識が生まれます。大会が楽しみです。この練習がこれからの学校生活に良い経験として生かされることを期待します。私自身との関係も良くなっていければと思っています。また、体力を使うとおなか为空きます。ご飯が美味しくいただけます。

学校という集団生活の場は子どもにとって楽しい場所であってほしいですが、現実はどうばかりとはいかないようです。子どもも一人の人間です。ちゃんと向き合って話を聞いてあげましょう。そして家庭でも人生の先輩としてアドバイスもしっかりしてあげてください。私も学校に行けば子どもと努めて話をしようと思っていますが、逆に声がかかってきて大変です。子ども達との会話は苦しいですよ(笑)。

クイズ

「問題」 お米編

現在私たちが食べているお米はほとんど水稻といわれるものです。コシヒカリ、ヒトメボレなどがそうです。さて、実際に存在している稲は次のうちどれでしょう。

- ①陸稲 ②海稲 ③空稲



※12月号の答え：②番 食料自給率

連絡先 教育委員会 82-1118 コーディネーター荒金 敏文 携帯 080-5232-7712

